

自社に合う**座席管理方法**とは？

座席管理ツール 徹底比較

ONLINE
参加無料

Copyright © 2025 ASMARQ Co., Ltd. All Rights Reserved.

参加者特典

比較表が
もらえる！



この度はセミナーへのご参加誠にありがとうございました

本セミナー特典資料が、今後の業務にお役立ちできましたら幸いです。

別途、在席管理ツール「せきなび」の資料ダウンロードご希望の方は、こちらからお申込みいただけます。

- ・ [「3分でわかる“せきなび”」資料をダウンロードする](#)
- ・ [製品について詳細を聞く](#)

Humapでは、在席管理をはじめ、ハラスメント対策・従業員満足度調査など課題に合わせて選べるHRサービスを提供しております。

皆様の従業員総活躍をご支援できるよう、精一杯尽力して参ります。
今後ともよろしくお願いいたします。

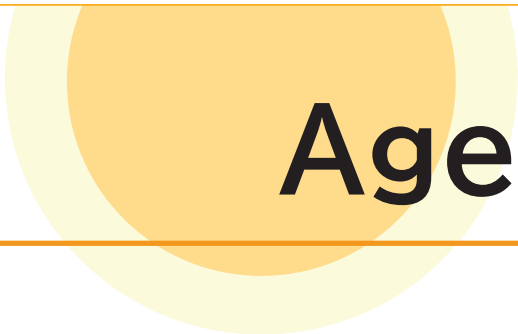
ご不明点等ございましたらお気軽にお問い合わせくださいませ。



株式会社アスマーク 豎山

メールアドレス
humap.marketing@asmarq.co.jp

電話番号(代表)
03-5468-5101



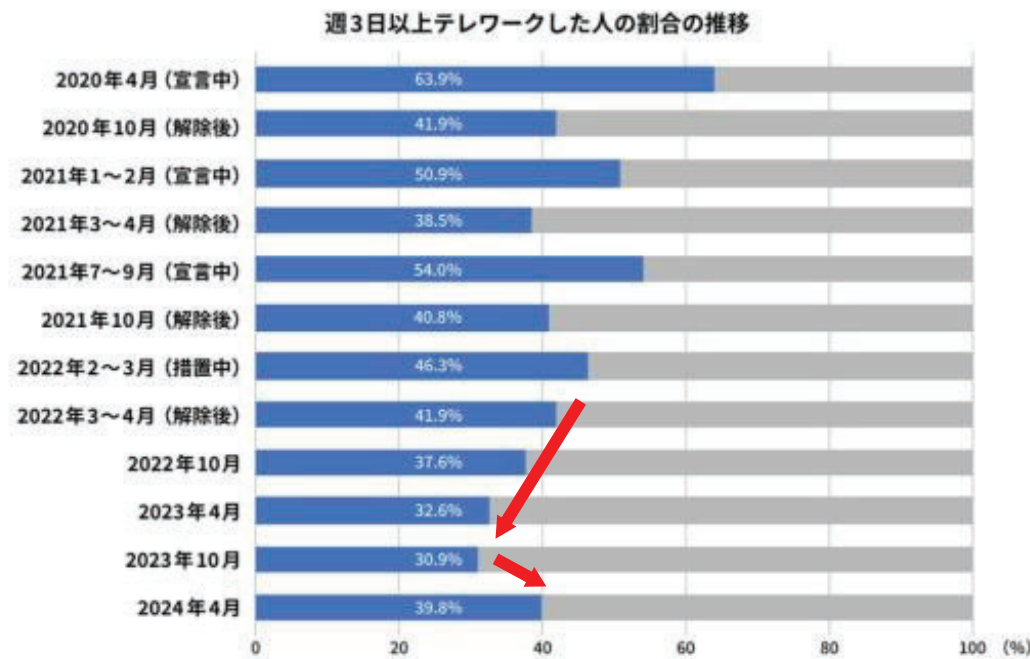
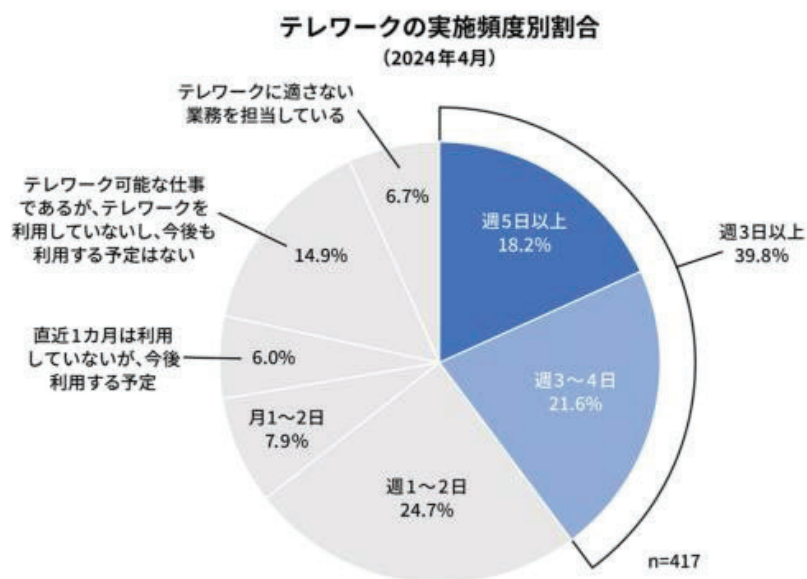
Agenda

- 働き方の多様化と課題
- 在席管理ツールの種類と特徴 ～メリット・デメリット
- 座席管理ツール 導入のポイント
- シンプルな操作性で簡単！座席管理ツールの操作方法

働き方の多様化



在宅勤務(週3日以上)を活用する人の割合が2年ぶりに上昇。
「ハイブリッドワーク」が広がり定着し始める。



参考:日経クロステック テレワーク実施率に異変、日本人の働き方は新たな「第3フェーズ」突入へ
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/02854/052900001/>

新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置が2022年3月に解除されてから減ったものの
2024年の調査では再び上昇。

法改正での変化

2025年4月施行 改正育児介護休業法

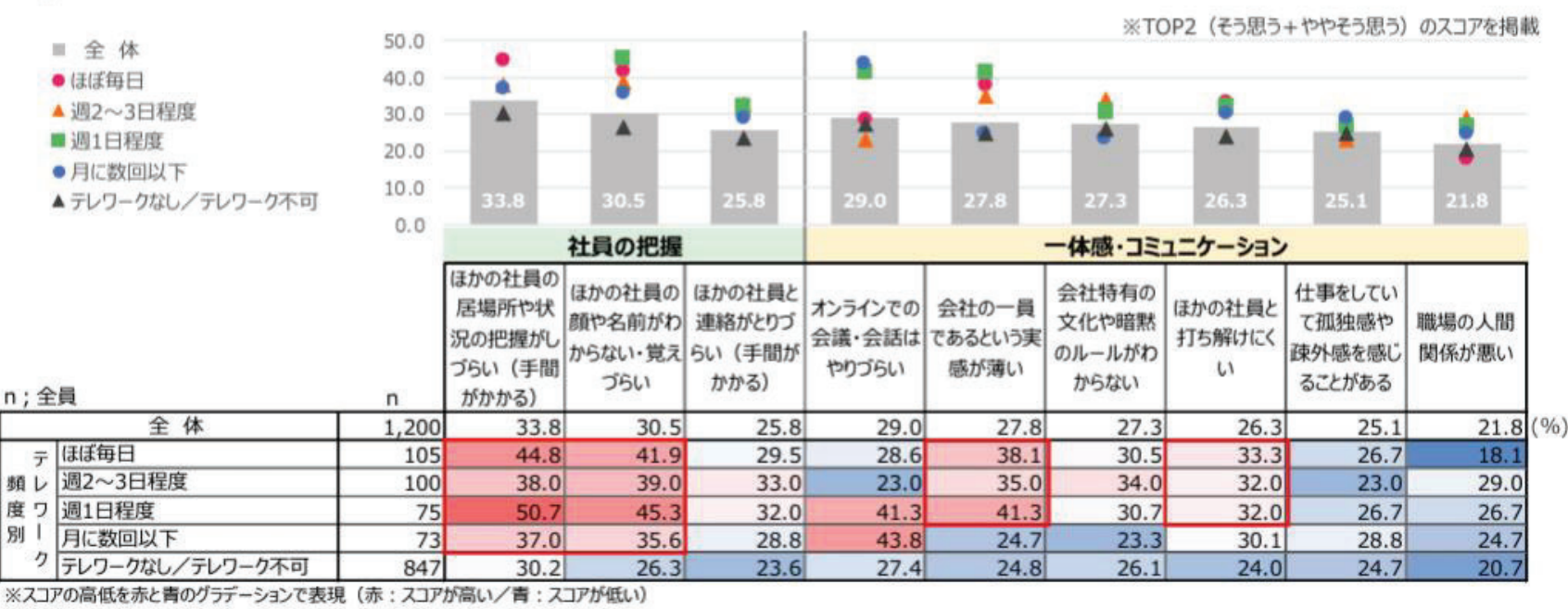
3歳未満の子を養育する労働者がテレワークを選択できるように措置を講ずることが、事業主に努力義務化

オフィス回帰の傾向はありつつも、
ハイブリッドワークが推進される見込み

従業員の連携が滞ることなく、働きやすい職場にするために
従業員の働く場所の可視化や勤務状況など可視化できると良い

テレワークやフリーアドレスが進んだことにより働く環境は複雑化

- ・ 顔と名前の不一致
- ・ 居場所や状況の不透明さ
- ・ 孤独感
- ・ 人となりがわからない



座席管理ツールならすべての悩みを解決

勤務状況の見える化

従業員の居場所や座席位置、業務状況(外出・会議)を管理。相手の今の状況や更新状況を確認できるようにし、正確な情報が素早く得られる



情報の書き換えが手軽に

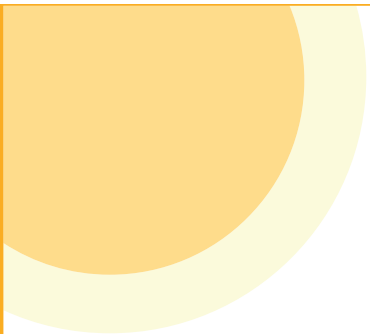
席替えをするのにも、オンライン上で各自でアイコンを移動させるだけ管理の手間が大幅削減



情報取得プロセスの簡易化 情報の一元管理

内線番号・携帯電話番号・メールアドレスなどプロフィール情報を一元管理しシステムの行き来を減らす





在席管理ツールの種類と特徴

メリット・デメリット

在席管理ツールの種類

代表的な在席管理ツールの種類と主な特徴

ビーコン(GPS)タイプ

専用アプリや機器を連動させ、位置情報を利用し、従業員の居場所を可視化するタイプ



QRタイプ

スマホカメラでQRコードを読み取ることで座席を管理するタイプ



スタンダードタイプ

PCやスマホからログインし、座席やステータスを管理するタイプ



エクセル・ホワイトボード

エクセルで作成した座席表に直接記入したり、ホワイトボードにマグネットを貼り付けた従来型の座席管理



専用アプリや機器を連動させ、位置情報を利用し、従業員の居場所を可視化するタイプ



メリット

- ・自動で位置情報が更新されるため更新の手間がない
- ・リアルタイムに行動を可視化できる

デメリット

- ・機器の設置や保有が必要で導入コストや手間がかかる
- ・監視されている感がある
- ・テレワークのステータス管理は別の仕組みが必要

このような方におすすめ

- ・変更の手間なくリアルタイムに確実性高く居場所管理をしたい
- ・従業員へのさぼり防止も兼ねたい
- ・全社員がスマホを保有している
- ・出社が多い



スマホカメラでQRコードを読み取ることで座席を管理するタイプ



メリット

- QRを読み取るだけで簡単にログインできる
- 座席毎にQRが設置されているので、ログインし忘れを軽減できる
- 座席毎の使用率のログをとることができる

デメリット

- QRコード発行等準備の手間がかかる
座席の入れ替えがあった時にも、QRを再発行する必要がある
- スマホ（アプリ）を持っていないとログインができない場合がある
- リアルタイムでの位置情報の確認ができない

このような方におすすめ

- 座席の使用状況等を把握 / 管理したい（特にフリーアドレスにて）
- 座席管理はしたいけど、監視はしたくない
- ハイブリッドワークが進んでいる



PCやスマホからログインし、座席やステータスを管理するタイプ



メリット

- ・居場所だけでなくテレワーク含め状況もステータスによって把握できる
- ・スマホ等デバイスがなくてもブラウザや共用PCからも利用できる
- ・シンプルな機能で不慣れな人でも分かりやすい

デメリット

- ・定着までログインにならない人が出てくる
- ・リアルタイムでの位置情報の確認ができない
- ・座席毎の使用率が取れない場合がある

このような方におすすめ

- ・従業員の居場所や何をしているかの状況も確認したい
- ・スマホ等のデバイスを従業員全員が保有していない
- ・座席管理はしたいけど、監視はしたくない
- ・ハイブリッドワークが進んでいる



エクセルで作成した座席表に直接記入したり、
ホワイトボードにマグネットを貼り付けた従来型の座席管理



メリット

- ・コストがかからず管理が可能
- ・誰でも簡単に操作 / 変更ができる
- ・昔ながらの方法で慣れている人も多い

デメリット

- ・外出先やリモート時に変更や確認ができない
- ・書き忘れがあるといつの情報がわからない
- ・席替えの度に大きな手間がかかる

このような方におすすめ

- ・固定席で人数もあまり多くない
- ・席替えや人の移動が頻繁に発生しない
- ・ホワイトボードが誰の席からも見える位置にあり運用に慣れている



シーン別 ― 外出中

ビーコンタイプ

アプリにログインすることで社内の様子は確認可能。

▲社外だと自身の位置情報は発信されない。



QRタイプ

外出を選択することができるものも。

変更し忘れた場合も、外出先からでもブラウザで操作が可能。



スタンダードタイプ

外出のステータスに変更することができ、詳細にコメントが残せる場合も。

変更し忘れた場合も、外出先からでもブラウザで操作が可能。



エクセル・ホワイトボード

外出前に必ず、記入を変更しておく必要がある。

▲外出先から急遽予定が変わった場合の変更が難しい。



スタンダードタイプ イメージ



- ・アイコンの色で外出中であることがわかる
- ・カーソルを合わせ(訪問先など)詳細確認ができる

シーン別 ― 会議中

ビーコンタイプ

会議室にアイコンが移動すると会議中であることがわかる。

▲自席でのオンライン会議だと判別ができない可能性も。



QRタイプ

会議室にもQRを設置し読み込むことで会議中であることがわかる。

▲自席でのオンライン会議だと判別ができない可能性も。
QRを読み忘れると判別が難しい。



スタンダードタイプ

会議室にアイコンを動かさずともステータスで自身の状況を共有することが可能。

▲変更し忘れると判別が難しい。



エクセル・ホワイトボード

▲会議前に必ず、記入を変更しておく必要がある。
外出と同じく、急遽予定が変わった場合の変更が難しい。



スタンダードタイプ イメージ



- ・アイコンの色で会議中であることがわかる
- ・カーソルを合わせ(終了時間など)詳細確認ができる

シーン別 — テレワーク中

ビーコンタイプ

アイコンが表示されないため、社内にはいないことは発信できる。一方的に社内の様子を確認することが可能。

▲外出なのか在宅勤務なのか本人以外判別が難しい。



QRタイプ

在宅用のQRを認識することで、テレワークであることを確認・共有することが可能。

▲QR読み取りし忘れると判別が難しい。



スタンダードタイプ

ステータスでテレワークであることを確認・共有することが可能。

▲変更し忘れると判別が難しい。



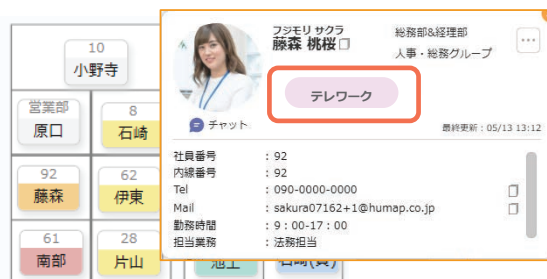
エクセル・ホワイトボード

▲社内の人に記入を依頼または前日に変更する必要がある。他の人の予定も確認することは難しい。



スタンダードタイプ イメージ

テレワーク



- ・アイコンの色で在宅していることがひと目でわかる
- ・カーソルを合わせ詳細確認ができる

導入のポイント 目的・必要な機能を整理する



目的をはっきりさせる

監視も兼ねたい

備品の在庫管理も
したい

コミュニケーション
を増やしたい

シンプルに座席だ
け管理したい

付属で必要な機能を整理する

席(会議室)の
予約

スケジュール
連携機能

座席抽選

ログの取得

プロフィール機能

スマホ操作

備品管理機能

チャット機能

その他に気にすべきポイント

- ・座席予約は必要か
- ・固定席の人の運用はどうするか
- ・導入サポートはどの程度か
- ・座席管理
- ・契約のしぼり
- ・トライアルの有無
- ・セキュリティ

POINT

座席管理ツールの機能はかなり充実してきている。
自社にとって必要なもの、必要でないものを見極める。
運用ルール等が重要になってくることも多く、ツールの使いやすさだけでなく
サポート体制が充実しているかが導入成功のカギになることも。



更新がとにかく手間。コストはかかるが、監視要素があったとしても自動で位置情報を管理したい。

→ビーコンタイプ

従業員がスマホを保有。座席の使用状況を管理したい。

→QRコードタイプ

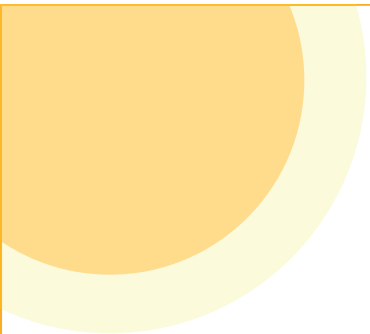
固定席で従業員の入れ替わりが少ない。大体のスケジュール等社内で共有・把握し合っている。費用をかけずに管理したい。

→エクセル・ホワイトボード

上記に当てはまらない方、まずは座席管理したい方
迷ったらスタンダードがおすすめ！

せきなびと他タイプツール機能比較表

	社内での 居場所管理	プレゼンス管理	テレワーク管 理	フリーアドレス 使用	スケジュール連携	ログの 取得	座席予約 ・抽選	メンバー 検索	リセット機能	監視機能	費用
ビーコンタイプ	◎ 自動で反映	△ 位置情報のみ	△	◎	×	◎	×	○	◎ (常に情報が更新され るという意味で◎)	◎	×
QRタイプ	○ QRによる読み込み	△～○ 居場所管理がメイン	○	◎	○ サービスにより異なる	◎	○ サービスにより異なる	○	○ サービスにより異なる	×	○
スタンダードタイプ (せきなび)	○ 従業員による 登録に従う	◎ 今の状態(背景色でス テータスを視覚的に確 認可能)	◎	◎	◎ Outlook Google Garoon ※ステータス 自動変更可能	○	○ 予約のみ可	○	○	×	○
エクセル・ ホワイトボード	○ 従業員による 書き込みに従う	△	×	×	×	×	×	×	×	×	◎



シンプルな操作性で簡単！ 座席管理ツールの操作方法

250社 15,000人が利用中！

ご導入企業一覧



医療法人社団 白報会



導入事例詳細はこちら！ <https://humap.asmarq.co.jp/case/>

プロフィール機能でコミュニケーションを活性化。現在は約3,000人で利用中



<会社情報>

会社名： 株式会社日本旅行
従業員規模： 4000名程度
事業内容： 旅行事業

課題	・複数部署の集約でオフィスの人数が倍増になり、在籍管理が課題になった ・テレワークやフリーアドレスによる居場所や状況把握が困難 ・お互いの顔や名前を把握できるようにしたい(社内コミュニケーション促進)
運用	・管理側の4名～5名でトライアルを実施してから導入を決定 ・約350名で運用開始後、導入を拡大し3,000名程度での利用中
効果	・外出、出張、テレワークも含めて誰がどこにいるか分かりやすくなった ・プロフィールをきっかけに社員間のコミュニケーションが生まれた

全文はこちら →(<https://www.asmarq.co.jp/column/hr/interview/nta/>)

確認の手間を大幅に削減。部門への帰属意識を高めてくれた



<会社情報>

- 会社名: 三菱電機エンジニアリング株式会社
- 従業員規模: 5,459名
(せきナビ利用は大阪本社と東京本部合計300名程度)
- 事業内容: 三菱電機製品の開発・設計、
自社製品の開発・設計・販売ほか

課題	・フリーアドレスになり、マグネットシートやウェブ掲示板など複数のシステムでの所在の管理が煩雑だった ・本社機能のある部門と営業部門が、複数のフロアや勤務地にわかれていて誰がどこにいるかわからない
運用	・少人数で無償トライアルを実施後、200名で運用を開始 ・新たに営業部門を追加し300名で運用中 ・複数のフロアと勤務地にわかれた部門を、ひと目で状況を把握できるように同じレイアウト上に表示
効果	・誰がどこにいるかを確認する時間が大幅に削減できた ・部門としての一体感や帰属意識が高まった ・フロアや勤務地の垣根を越えて、相互の連携が取りやすくなった

全文はこちら →(<https://humap.asmarq.co.jp/case/mee/>)

トライアル後75%が利用を希望！複数フロアを対象に在席状況を可視化



<会社情報>

会社名： 東急プロパティマネジメント株式会社
従業員規模： 1,489名程度
事業内容： 不動産運営・管理

課題	・フリーアドレスでの所在把握、コミュニケーションの取りづらさ ・約200名が在籍するフロアでホワイトボードを確認する負担
運用	・1ヶ月の無償トライアル後に有償トライアルを実施 ・社内アンケートの結果、75%の継続希望を踏まえ本格導入 ・本社の複数フロアを対象に約400名で運用中
効果	・誰がどこにいるか、名前や役職、連絡先がすぐわかるようになった ・ホワイトボードと席を往復する手間が省けるようになった

全文はこちら →(https://humap.asmarq.co.jp/case/tokyu_pm/)

テレワーク中の在席管理から、組織改善に繋がるES調査まで
アスマークの従業員総活躍サービス「Humap」

